



# お元気ですか

2006年10月  
通巻229号

市議会議員 山下けいき TEL 635-6680  
〒567-0849 茨木市平田台5-6-401 fax 635-5184  
市役所へのご意見、ご要望はお気軽にご連絡ください。メール [keiki@crocus.ocn.ne.jp](mailto:keiki@crocus.ocn.ne.jp)  
<http://www.genki-yamashita.com/> 山下のホームページが元気です。  
新鮮、ボリュームで勝負しています。「山下けいき」で簡単に検索できます。ぜひご覧ください。

## 9月本会議質問

## 平和行政こそが 最大の住民保護だ

①これまで市民に対し国民保護計画についてどのように周知してきたのか。パブリックコメントはどのような方法でやるのか。素案はどこで見られるのか。またそ場所の周知はどうするのか。要望があれば素案の貸し出しはするのか。郵送なども考えるべきではないか。

②パブリックコメントで寄せられた意見はどのように公表するのか。

③素案には弱者への配慮と書かれているが、視覚障害者など情報弱者にはどのような情報提供を考えているのか、何も知らされていないのではないか。素案の点字版ぐらい作るべきではないか。また市内外国人への配慮はどうなっているのか。外国語版を作る考えはないか。

④国民保護協議会は2回開かれ、1回目は顔合わせ、2回目は日赤の講演がメインで、実際の質疑は30分弱にとどまっている。内容が深まっているように思えない。しかもパブリックコメントを行って12月には答申となる。市民の意見の反映にはほど遠いのではないか。

⑤市が作成した素案の内容で大阪府のマニュアルと違う点はどこか。

⑥非核平和都市宣言をした本市は、積極的な平和外交などの平和行政こそが最大の住民保護という考えを示すべきではないか。



平和憲法9条こそ日本の誇り

## ◆4市1町の合同防災訓練は戦時訓練が入っているのではないか

①この9月24日に大阪府・三島地域4市1町の合同防災訓練が予定されている。NBC（核・生物・化学兵器）訓練が実動型訓練の中に位置づけられている。これはどのような想定か。いつから入ったのか。またこれが入るようになったのはどのような経過からか。

②大規模地震への備えと案内に書きながら、実際はいつの間にか有事訓練、戦時訓練になっているのではないか。

有事法制に疑義を呈してきた東京国立市の上原公子市長は「国民保護計画を想定することが無駄だと結論に達した。災害と「有事」を同一視すること自体が非常に無理がある」と指摘している。大事な事は平和外交を心がけ、いかに有事が発生しないよう努力していくことではないか。

## 茨木市国民保護計画(案)にあなたの声を

茨木市は国民保護計画についての市民の意見（パブリックコメント）を募集しており、この後、12月の第3回目の国民保護協議会で決定（議会へは報告のみ）される予定です。

平和への努力よりも意図的に仮想的敵国をつくり、国民の不満を外に向けて、市民を戦争思考に組みこませるための国民保護計画にならないよう、あなたの声を市に届けましょう。

### ◆関係資料は次のところで見ることができます。

- ・市役所ホームページ
- ・総合防災課窓口
- ・中央図書館他4図書館
- ・中央公民館他9地区公民館
- ・北辰出張所
- ・市役所南館1階情報ルーム



### ◆意見の提出方法・提出先

- ・茨木市役所本館3階 総合防災課窓口  
FAX 072-624-9249 E-mail [bousai@city.ibaraki.lg.jp](mailto:bousai@city.ibaraki.lg.jp)
- ・郵送 〒567-8505 茨木市駅前三丁目8番13号有茨木市総務部総合防災課宛  
(最終日の消印有効)

### ◆意見の募集期間

2006年10月2日（月）から11月1日（水）